

2027年3月期 第2四半期 (中間期) 決算短信 (日本基準) (連結)

2026年10月30日

上場会社名 株式会社 ヨシタケ

コード番号 6488 URL <https://www.yoshitake.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼経営企画室長

半期報告書提出予定日 2026年11月13日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 山田 哲

(氏名) 間野 文祥

TEL 050-3508-5835

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期 (中間期) の連結業績 (2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	5,840	14.5	826	19.7	1,049	18.3	763	40.4
2026年3月期中間期	5,100	7.3	690	45.8	886	71.0	543	33.4

(注) 包括利益 2027年3月期中間期 757百万円 (5.1%) 2026年3月期中間期 720百万円 (△8.0%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	60.05	—
2026年3月期中間期	42.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期中間期	21,325	18,788	87.4	1,465.76
2026年3月期	21,306	18,481	86.0	1,441.52

(参考) 自己資本 2027年3月期中間期 18,641百万円 2026年3月期 18,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2027年3月期	—	0.00			
2027年3月期 (予想)			—	36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年 3月期の連結業績予想 (2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,080	7.1	1,520	15.1	1,930	△16.0	1,390	△6.0	109.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

4) 発行済株式数 (普通株式)				
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	13,326,389 株	2026年3月期	13,326,389 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	608,557 株	2026年3月期	608,557 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	12,717,832 株	2026年3月期中間期	12,717,832 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、上記予想に関する事項は、[添付資料] P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善を受け個人消費に持ち直しの動きがみられたほか、省力化・デジタル化に向けた投資需要を背景に設備投資も底堅く推移し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国をはじめとする各国の通商政策の動向や海外経済の不確実性、中東情勢などが景気の下押しリスクとなり、輸出には持ち直しの動きがみられたものの、先行き不透明な状況となりました。今後につきましては、海外経済や地政学的リスク、資源価格の動向など不透明要因が残るものの、個人消費の持ち直しや省力化・デジタル化投資の継続による景気の下支えが期待されます。また、海外情勢や物価動向による下振れリスクには引き続き留意が必要です。海外経済においては、米国経済は個人消費の底堅い推移やA I 関連分野を中心とした設備投資に支えられ、緩やかな成長基調を維持いたしました。一方で、雇用の伸びの鈍化や通商政策を巡る不透明感、インフレ圧力の残存など、先行きへの懸念も継続いたしました。欧州経済は、雇用環境が底堅く推移する中、個人消費の持ち直しを背景に緩やかな回復の動きがみられました。ただし、設備投資の回復には力強さを欠くほか、地政学的リスクやエネルギー価格の動向、インフレ圧力などが景気の下押し要因となり、総じて力強さを欠く状況で推移いたしました。中国経済は、政府による景気下支え策が継続される中、輸出が堅調に推移し経済成長を下支えしました。内需面では、不動産市場の低迷や個人消費の伸び悩みなどから、国内需要の回復には力強さを欠く状況が続きました。また、通商環境を巡る不透明感も残り、先行きには不確実性がみられました。こうした中、輸出を中心に成長を維持したものの、内需の回復は緩やかなものとどまりました。今後の世界経済につきましては、地政学的リスクや通商政策を巡る不透明感に加え、エネルギー価格の動向やインフレ圧力など不透明要因が継続するものと見込まれます。一方で、A I ・デジタル関連分野を中心とした設備投資が景気を下支えし、地域ごとに回復ペースのばらつきはみられるものの、全体としては緩やかな成長が続くものと見込まれます。

当社グループにおきましては、国内外のマーケットへ向け営業活動を強化してまいりました結果、国内顧客向け販売では、当社の主力製品である減圧弁の販売が堅調に推移したほか、工場設備市場において、省エネルギー効果・CO₂削減効果に寄与するワイズジャケットや、医療機関、医薬品工場、食品工場及び化学工場向けのマグネットミキサーが好調に推移したことなどにより、国内売上高は前期を上回りました。海外顧客向け販売では、円安基調を追い風として好調に推移し、海外売上高も前期を上回りました。この結果、販売活動全体としては前期を上回りました。今後につきましては、販売活動において、国内外の建築設備物件の受注獲得に努めるとともに、流通、エンドユーザー、建築物件の三つの領域で営業強化を推進し、海外販路の更なる拡大を図ってまいります。製品開発においては、製品ラインアップの拡大および新市場へ投入できる製品開発を推進し、開発スケジュールの厳守と開発期間の短縮により、開発力の強化に努めてまいります。さらに、内製化を含むサプライチェーンの多様化や、自然災害およびナフサ関連材料の調達性への対策強化など、リスク管理の強化に取り組んでまいります。また、流体制御バルブの販売を通じて顧客の省エネを支援するとともに、社内においてもより一層の省エネを推進し、販売地域の拡大および新市場への参入を進めることで、サステナビリティ経営を推進し、企業価値の向上に努めてまいります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き積極的な提案営業を展開した結果、連結売上高は58億40百万円（前年同期比14.5%増）となりました。

損益面では、生産の効率化、工数低減やコスト削減を徹底した結果、営業利益は8億26百万円（前年同期比19.7%増）となりました。経常利益は為替の影響などにより10億49百万円（前年同期比18.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は7億63百万円（前年同期比40.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は213億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円増加しました。主に有価証券が6億50百万円減少したものの、投資有価証券が10億14百万円増加したことなどによりです。

負債は25億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億87百万円減少しました。主に未払法人税等が3億26百万円減少したことなどによりです。

純資産は187億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億7百万円増加しました。主に配当金を4億45百万円支払った一方、親会社株主に帰属する中間純利益を7億63百万円計上したことにより利益剰余金が3億18百万円増加したことなどによりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月15日付決算短信にて開示いたしました予想値から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,160,220	4,223,265
受取手形及び売掛金	2,158,779	1,838,958
電子記録債権	1,104,761	1,198,264
有価証券	718,396	67,688
商品及び製品	1,650,341	1,691,413
仕掛品	1,061,813	1,142,546
原材料及び貯蔵品	1,173,364	1,178,431
その他	300,378	233,471
貸倒引当金	△35,399	△28,010
流動資産合計	12,292,656	11,546,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,054,729	3,947,111
減価償却累計額	△2,428,556	△2,394,537
建物及び構築物(純額)	1,626,172	1,552,574
機械装置及び運搬具	5,565,485	5,470,328
減価償却累計額	△4,296,236	△4,273,799
機械装置及び運搬具(純額)	1,269,248	1,196,528
土地	1,341,591	1,328,926
リース資産	424,570	441,150
減価償却累計額	△111,871	△147,781
リース資産(純額)	312,698	293,368
建設仮勘定	47,065	56,133
その他	1,316,036	1,312,533
減価償却累計額	△1,187,517	△1,211,675
その他(純額)	128,519	100,857
有形固定資産合計	4,725,297	4,528,389
無形固定資産		
のれん	590,510	524,839
その他	107,242	98,344
無形固定資産合計	697,753	623,183
投資その他の資産		
投資有価証券	3,094,627	4,109,097
その他	495,821	518,768
投資その他の資産合計	3,590,448	4,627,866
固定資産合計	9,013,499	9,779,440
資産合計	21,306,155	21,325,470

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	452,034	637,178
短期借入金	19,789	15,988
1年内返済予定の長期借入金	1,748	—
未払法人税等	592,119	265,134
賞与引当金	204,012	222,083
その他	638,354	491,293
流動負債合計	1,908,059	1,631,678
固定負債		
リース債務	199,281	175,739
役員退職慰労引当金	163,224	146,049
退職給付に係る負債	422,865	423,331
資産除去債務	48,378	48,868
その他	83,258	111,581
固定負債合計	917,008	905,571
負債合計	2,825,068	2,537,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,908,674	1,908,674
資本剰余金	2,657,539	2,657,539
利益剰余金	11,467,840	11,786,450
自己株式	△244,975	△244,975
株主資本合計	15,789,078	16,107,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88,918	71,285
為替換算調整勘定	2,455,028	2,462,340
その他の包括利益累計額合計	2,543,947	2,533,625
非支配株主持分	148,061	146,904
純資産合計	18,481,087	18,788,219
負債純資産合計	21,306,155	21,325,470

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	5,100,237	5,840,977
売上原価	3,045,130	3,533,634
売上総利益	2,055,107	2,307,342
販売費及び一般管理費	1,364,473	1,480,723
営業利益	690,633	826,619
営業外収益		
受取利息	27,007	42,823
受取配当金	3,811	4,508
組合投資利益	73,831	0
持分法による投資利益	197,041	182,964
為替差益	—	7,311
その他	21,663	58,630
営業外収益合計	323,355	296,239
営業外費用		
支払利息	7,564	5,214
組合投資損失	2,562	50,672
為替差損	109,721	—
その他	7,623	17,831
営業外費用合計	127,472	73,719
経常利益	886,517	1,049,139
特別損失		
会員権売却損	7,700	—
特別損失合計	7,700	—
税金等調整前中間純利益	878,817	1,049,139
法人税、住民税及び事業税	380,344	250,485
法人税等調整額	△48,285	35,661
法人税等合計	332,059	286,146
中間純利益	546,757	762,992
非支配株主に帰属する中間純利益	2,926	△742
親会社株主に帰属する中間純利益	543,830	763,734

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間純利益	546,757	762,992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,408	△17,633
為替換算調整勘定	207,571	△155,606
持分法適用会社に対する持分相当額	△37,522	167,503
その他の包括利益合計	173,458	△5,736
中間包括利益	720,216	757,256
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	721,840	753,412
非支配株主に係る中間包括利益	△1,623	3,843

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	878,817	1,049,139
減価償却費	257,491	277,810
のれん償却額	65,671	65,671
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,308	19,484
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,575	△17,175
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,307	△7,389
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,899	3,266
受取利息及び受取配当金	△30,819	△47,332
支払利息	7,564	5,214
為替差損益(△は益)	5,012	12,547
持分法による投資損益(△は益)	△80,725	△55,200
組合投資損益(△は益)	△73,831	50,672
売上債権の増減額(△は増加)	133,673	221,154
棚卸資産の増減額(△は増加)	△155,954	△174,232
仕入債務の増減額(△は減少)	38,453	180,445
その他	13,311	5,649
小計	1,070,141	1,589,726
利息及び配当金の受取額	32,425	29,942
利息の支払額	△7,564	△5,214
法人税等の支払額	△190,495	△545,988
営業活動によるキャッシュ・フロー	904,506	1,068,465
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,208	△94,682
定期預金の払戻による収入	24,190	24,670
有形固定資産の取得による支出	△155,718	△234,203
有形固定資産の売却による収入	10,637	772
無形固定資産の取得による支出	△30,439	△5,397
有価証券の償還による収入	200,000	—
投資有価証券の取得による支出	△499	△815,055
投資有価証券の売却による収入	—	1,942
組合出資金の払戻による収入	175,982	586,898
その他の支出	△37,594	△21,991
その他の収入	3,350	10,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	179,701	△546,719
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△400,000	△3,801
長期借入金の返済による支出	△72,030	△1,748
配当金の支払額	△343,381	△445,124
非支配株主への配当金の支払額	△3,000	△5,000
リース債務の返済による支出	△20,044	△31,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	△838,455	△487,193
現金及び現金同等物に係る換算差額	32,440	△41,517
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	278,192	△6,965
現金及び現金同等物の期首残高	3,469,357	3,991,053
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,747,549	3,984,087

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
役員退職慰労引当金繰入額	5,575千円	5,325千円
給料	455,308	499,705
賞与引当金繰入額	100,064	105,189
退職給付費用	19,850	20,113
貸倒引当金繰入額	△6,925	△7,811

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
現金及び預金勘定	3,819,414千円	4,223,265千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△71,865	△239,177
現金及び現金同等物	3,747,549	3,984,087

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	日本	アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	3,623,160	1,477,077	5,100,237
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,623,160	1,477,077	5,100,237
セグメント間の内部売上高又は振替高	99,529	1,072,142	1,171,672
計	3,722,690	2,549,220	6,271,910
セグメント利益	485,283	229,709	714,992

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	714,992
セグメント間取引消去	△1,047
棚卸資産の調整額	△23,311
中間連結損益計算書の営業利益	690,633

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	日本	アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	4,191,825	1,649,151	5,840,977
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,191,825	1,649,151	5,840,977
セグメント間の内部売上高又は振替高	104,645	1,254,441	1,359,087
計	4,296,471	2,903,592	7,200,064
セグメント利益	648,571	178,308	826,880

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	826,880
セグメント間取引消去	12,034
棚卸資産の調整額	△12,295
中間連結損益計算書の営業利益	826,619

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。